

# 「とちぎの共創型実践技術者」の育成



将来にわたり本県の工業を支えていける地域人材を育成するため、これまでの専門分野ごとの工業教育の知識・技能だけでなく、新しい価値を生み出せる思考プロセスを備えた、「とちぎの共創型実践技術者」を育成するための取組を実施し、その効果を検証する。

## 高校生とちぎものづくりコンソーシアム



栃木県立宇都宮工業高等学校

—産業界—  
ロボット関連企業  
ソフトウェア開発企業  
自動車関連企業  
建設業協会

大学  
高等専門学校  
工業関係高等学校

日本弁理士会

—宇都宮市—  
宇都宮市経済部  
宇都宮市南図書館  
雀宮地区市民センター

—栃木県—  
栃木県教育委員会  
栃木県産業労働観光部

—公的試験研究機関—  
栃木県産業技術センター

足利銀行



## 令和2年度の目標

【育成を目指す資質・能力】

生きて働く  
「知識及び技能」の  
習得

- システム思考・デザイン思考能力の向上
- 技術経営(MOT)に関する知識の向上
- 知的財産に関する知識の向上
- M2Mに関する知識の向上
- リスクマネジメント対応能力の向上
- 技術英語活用能力の向上

## 取組状況

- ★システム・デザイン思考ワークショップ
- ★ロボットS1er育成講習会
- ★全科でIoT実習を導入



## 成果と課題

Society5.0時代の地域産業を支える技術者に必要な6つの「能力」や「知識」を講義や実習から育成した。新しいアイデアを生み出す思考法のワークショップやIoT実習により、生徒・教員は「知識・技能」を活用すれば、多種多様な課題を解決できることを体験した。今後の課題としてリスクマネジメントと技術経営の知識を「実践的・体験的な学習活動」に活用して、他者と協働し広い視野から工業に関する諸課題を発見、解決できる能力を育成し、学ぶ意欲を高める学習プログラムへの深化が必要である。